【マイナポイント第２弾】

マイナンバーカードの申請期限延長

マイナンバーカードでマイナポイント 第2弾

マイナポイント第２弾の対象となるマイナンバーカードの申請期限が令和４年12月末まで延長されました。申請を予定している方は、お早めに申請をお願いします。なお、カード受け取りの際、窓口が混雑する場合がありますので、時間に余裕をもってお越しください。

マイナンバーカードの申請期限

令和４年 12 月末まで

今なら最大 **20,000** 円分の
マイナポイントが**もらえる**

マイナポイントの申請期限

令和５年２月末まで

① マイナンバーカードの新規取得等で **5,000 円相当**※1（付与率 25%）

＋

② 健康保険証としての利用申し込みで **7,500 円相当**※2

＋

③ 公金受取口座の登録で **7,500 円相当**※2

※１　マイナンバーカードをすでに取得した方のうち、マイナポイント第１弾の申し込みをしていない方も含みます
※２　すでに利用（登録）申し込みしている方も含みます

マイナンバーカード出張申請窓口を開設

問 住民環境課 ☎43-9030

■日時　11 月 23 日（祝）午前９時～正午、午後１時～４時　■会場　野田川わーくぱる

■持ち物　①交付申請書（お持ちの方）＋通知カード＋本人確認書類（Ａ１点もしくはＢ２点）
②交付申請書（お持ちの方）＋本人確認書類（Ａ１点＋Ｂ１点）
※ Ａ…顔写真付き（運転免許証、障害者手帳など）
Ｂ…顔写真なし（健康保険証、介護保険証、子育て医療証など）

・手ぶらでも OK
・顔写真無料撮影

リベラルアーツ「医学」講座を開催しました

よさのみらい大学

問 企画財政課 ☎43-9015

講師の宮沢氏

10月22日、京都大学医生物学研究所の宮沢孝幸氏を講師に迎え、よさのみらい大学リベラルアーツコース講座「新型コロナウイルスから学ぶウイルスとの共生」を知遊館で開催しました。

宮沢氏は、ウイルスの本来の存在意義やコロナウイルスの基礎知識について、ユーモアを交えながら解説。講師のわかりやすい説明にうなずきながら受講する姿も見られ、受講者からは「貴重な話を聴くことができた」との感想があり、見識を広げる機会となりました。

次回は、11月23日に地域づくり学部「ローカルフラッグと考える与謝野町のまちづくり」講座を開催します。

功績功労をたたえて

●旭日単光章
糸井 満雄（いとい みつお）さん

糸井満雄さん（弓木）は、平成11年4月から与謝野町合併までの18年2月まで6年10ヵ月を岩滝町議会議員として、また、18年4月から26年4月までの2期8年を与謝野町議会議員として在職し、与謝野町議会議長、岩滝町議会副議長などの要職を歴任され、町政並びに地方自治の発展および住民福祉の向上に多大な貢献を果たされました。

外国人技能実習生が表敬訪問

町内２つの介護福祉事業所が技能実習生を受け入れ

問 福祉課 ☎43-9021

9月29日、フィリピンから介護福祉事業所の技能実習生として3人の方が、山添町長を表敬訪問されました。介護福祉人材が不足する中、3人のスタッフは大きな力となります。これから3年間、与謝野町に滞在し、介護の仕事を身に着け母国に技能を持って帰られます。

与謝野町では、令和4年度から「福祉人材支援事業」を創設。外国人技能実習生を受け入れる事業所に対して、住宅家賃相当額の一部を補助し、福祉人材の確保を援助しています。

山添町長訪問の様子

人の温もりを感じた 15 日間

農林水産省伝統の研修「農村研修」の受け入れ

問 農林課 ☎43-9023

昭和42年から続く農林水産省の入省数年目の職員農村研修を、10月8日～22日の間、与謝野町内で受け入れました。この研修は、農村の現場において農林漁業を直接経験することにより、現場の実態に即した政策の企画・立案ができる人材を幅広く養成することを目的としています。

与謝野町には、同省経営局協同組織課課長補佐の佐伯健太郎（さえきけんたろう）さんが研修に来町。まさ農園様（温江）にお世話になり、農作物の植え付け・収穫から出荷作業、また、地域の方々との交流を通して現場でしか気づけないことを学ばれ、「今後の業務の中で現場の実態とあった政策議論に生かしていきたい」と話してくれました。

きゅうりの収穫作業中の佐伯さん（左）

研修の終盤には、京丹後市に来られた4人の研修生と合同の報告会・意見交換会が開催され、それぞれ研修を通した自身の気づきを関係者と共有。研修生からは「農林漁業の担い手不足と言われており、新規就農に対する支援も重要だが、その先の定着への支援も重要」「丹後地域は仕事とセットとした長期滞在プログラムの造成が可能なエリア」といった意見があり、今後の新たな施策立案に期待が高まります。

農村研修の様子を報告する５人の研修生